

県内経済の動き

概況

〔2022年1月～2022年3月の動き〕

新型コロナ感染拡大のなかでも個人消費の一部は底堅く推移

鉱工業生産指数（1月）は3カ月連続で前年同月比上昇、通関輸出額（2月 細島港）は2カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（2月 全店ベース）は5カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（3月）は7カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（2月）は2カ月連続で前年同月比増加し、公共工事（3月 保証対象請負総額）は3カ月ぶりに前年同月比減少した。有効求人倍率（2月）は前月比横ばいの1.38倍で、3月の企業倒産は前月比1件増の1件、負債額は同1億84百万円増の1億84百万円となった。

新型コロナ感染者数が増加したものの、百貨店・スーパー販売額は前年同期比プラスであった。感染拡大は継続しており、今後の県内経済への影響が懸念される。